

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（135）」

2. 日時：令和4年5月18日（水）10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、松末技術参与、杉野統括技術研究調査官

北海道電力株式会社：藪執行役員 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波）
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	現象規制庁タニです。それでは本日のヒアリングを始めたいと思います。今日の案件としては、泊発電所3号炉基準津波に関するコメント回答日本海東遠部に想定される地震に伴う津波ということで、
0:00:17	ヒアリングを行います。まずは資料の説明の方北海道電力からお願いいたします。
0:00:25	はい。北海道電力の松村です。
0:00:28	今、谷さんからあった通り、日本海東遠部に想定される地震に伴う津波に対しまして、関しまして4月11日のヒアリングを踏まえまして、
0:00:40	資料一部修正をしてきましたので説明させていただきます。
0:00:44	説明はアオキから説明時間は、約30分程度を考えてございますよろしくお願いいたします。
0:00:56	北海道電力の青木です。
0:00:58	と本日資料の方に種類用意しておりまして、厚いほうの資料は本資料、薄いほうの資料は補足説明資料というところになります。今回は本資料の方をメインに説明させていただきます。
0:01:12	とまた4月11日のヒアリングの資料から修正を行っておりますのでその修正内容をメインとして説明させていただきます。
0:01:21	ページ番号ですが3ページをお願いいたします。
0:01:26	こちら本日の説明概要のうち基本地形の変更についての説明ページとなります。
0:01:32	テキストボックスの一つ目のマル、令和4年3月31日の審査会合において残されている審査上の論点として、一つ目の矢羽根防潮堤についてはその平面的な位置、
0:01:44	及び形状が今後さらに変更される場合には、
0:01:48	さらなる膨張での設計変更や基準津波の再解析等審査工程への影響が大きいことから、形状等の変更の可能性がないことの早期確認が重要。
0:01:59	このため残置する膨張てや建屋からの影響など膨張ての平面的な位置及び形状の決定に影響する事項について根拠を含めて網羅的な整理と説明が必要。
0:02:11	具体的には第1032回審査会合で事業者が示した三つの評価項目を含め影響を及ぼす評価項目の選定プロセスを整理し、
0:02:22	説明するとともに定量的な影響評価の実現性を検討した上で、評価方針及びその妥当性を説明すること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	こちらの三つの評価項目につきましては①瓦れきが漂流物となり非常用海水冷却系の機能に及ぼす影響、②、水の発生による非常用海水冷却系の機能及び、
0:02:44	津波荷重に及ぼす影響、③瓦れきが漂流物となり漂流物衝突荷重に及ぼす影響の三つとなります。
0:02:53	これらの論点を踏まえまして今後の作業方針として、防潮堤内海側の残置する敷地北側防潮て及び敷地北側防潮堤内部の建屋について、
0:03:03	それらが損傷した場合の防潮てに対する波及的影響を定量的に評価することが困難という判断に至ったことから撤去することとしました。
0:03:13	また防潮底の内側に車両等がある場合に、津波漂流物となる可能性を考慮し、防潮て乗り越え道路については設置しないこととしたという方針にしております。
0:03:24	以上を踏まえましてスライドの下表に示す通り、基本とするけ地形モデルについて変更したというところになります。
0:03:34	5 ページを 4 ページ、お願いいたします。
0:03:39	プラススライドの中段の表の中で、敷地北側防潮て内部の建屋及び防潮て乗り越え道路の位置付けを整理してございます。
0:03:49	こちら左側のところに、変更前の所、位置付けを変えておまして、敷地北側防潮店の損傷状態が健全な場合のものを基本地形として検討しておりました。
0:04:02	また敷地北側防潮ての損傷状態の①から③にかけては、不確かさケースとして検討しておりました。
0:04:10	この不確かさというものは、注釈で書いておりますが、敷地北側防潮て他については津波防護施設としないことからこれらの損傷を考慮した検討という位置付けとしておりました。
0:04:23	また表中の右側に今回説明します、変更後の、
0:04:27	検討モデルの位置付けを書いてございます。
0:04:31	このうち敷地北側防潮ての 3 相状態①のものを基本地形モデルとして検討する位置付けに変更しております。
0:04:40	この①以外の地形モデルについては、江藤敷地北側防潮堤内部の建屋及び乗り越え道路についてはモデル化は不要となるため、これらの損傷を考慮した検討は不要とする。
0:04:53	といった一時位置付けになっております。こちらでモデル化は不要となるというところについては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:59	撤去するもしくは設置しないというところからモデル化は不要になるということにしております。
0:05:07	続きまして5ページをお願いいたします。
0:05:11	こちら基本地形の変更に伴い、敷地北側ご上程内部の建屋及び乗り越え道路はモデル化は不要となるためこれらに関する指摘事項については、
0:05:22	回答方針を見直しております。
0:05:24	具体的には、No.1No.2No.18、No.20 の下表に示す、指摘事項について回答方針を見直しております。
0:05:35	続きまして6ページをお願いいたします。
0:05:40	説明概要のうちは現位置西側の検討についての説明となります。
0:05:46	こちらは指摘事項のNo.21、No.22 を踏まえましては現位置の西側の検討を追加実施いたしました。
0:05:54	この検討の結果より、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①、
0:05:59	日本の3号炉取水口上昇側の最大ケースの波源モデルは、
0:06:04	令和3年12月24日の内容から変更が生じております。
0:06:09	7ページをお願いいたします。
0:06:13	ではスライドの左側に追加検討しました波源位置のモデルを記載してございます。
0:06:20	スライドの右側のところに、変更前後の防波堤の損傷を考慮した地形モデル013号炉取水口の最大ケースを記載してございます。
0:06:30	変更前の令和3年12月24日の会合では、3号炉取水口上昇側の評価値が9.30メートルのもので、断層パラメーターとしましては、
0:06:41	断層パターン6の9の字モデルを東へ移動させたものが選定されておりました。
0:06:47	こちらが追加検討を、
0:06:50	実施したところ、右側のものに変更となりまして、評価値としては9.37メートル。
0:06:56	断層パラメータの諸元としましては断層パターン1の上げモデルで、波源位置を黒字モデルにして西へ移動させたものが選定されております。
0:07:05	こういった変更が生じております。
0:07:08	続きまして8ページをお願いいたします。
0:07:13	貯留堰を下回る時間に着目したパラメータスタディというところで、指摘事項のNo.7、No.8、No.23 を踏まえまして貯留堰を下回る継続時間、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:25	及びパルスを考慮しない時間に着目したパラメータスタディを実施いたしました。
0:07:31	この追加のパラメータスタディの実施により、それぞれの最大ケースを日本海東遠部に想定される地震に伴う津波の最大ケースに追加いたしました。
0:07:40	69 ページをお願いいたします。
0:07:44	9 ページのスライドの下側に、パラスタの結果により選定された日本海東遠部の最大ケースに追加します。
0:07:53	貯留堰を下回る継続時間及びパルスを考慮しない時間の最大ケースを示しております。
0:08:00	当区分のところで貯留堰を下回る継続時間につきましては 558 秒のものが最大値となりまして、パルスを考慮しない時間については、同じ波源で 558 秒のものが選定されて、
0:08:14	最大ケースとして抽出しております。
0:08:19	す。10 ページ 11 ページをお願いいたします。
0:08:24	こちら本日の説明概要のまとめになるページとなりまして、日本海東遠部で想定される地震に伴う津波の最大ケースの変更箇所を 10 ページ 11 ページで記載してございます。
0:08:36	一つ目の丸、基本地形の変更に伴いまして、数センチメートルのオーダーであります但し水位変動量の変更が生じております。
0:08:47	その変更箇所については朱書きで書いておりましてそれぞれ評価値のところを、
0:08:52	の数字が変更になってございます。
0:08:55	ただし、この基本地形の変更に伴う波源選定結果は下の諸元については変更は生じておりません。
0:09:03	二つ目のマル、波源位置西側の検討に伴いまして、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①の 3 号炉取水口上昇最大ケースの波源モデルについては変更が生じております。
0:09:17	こちらは赤枠で示している箇所となります。
0:09:20	最後に、貯留堰を下回る時間に着目したパラメータスタディ。
0:09:25	元に伴いまして、貯留堰を下回る継続時間及びパルスを考慮しない時間の最大ケースを追加いたしました。
0:09:32	こちらは 11 ページの青枠で示している箇所となります。
0:09:37	本日の説明概要については以上となりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:41	スライド 154 ページをお願いいたします。
0:09:53	スライドの 154 ページでは計算条件のうち評価項目について説明したスライドになります。
0:10:00	IV、4 月 11 日の資料からの変更点としましてとスライドの左側の中段に書いております、水位変動量に関する評価項目の表のうち、
0:10:12	3 号炉取水口、12 号の取水口放水高の上昇側の評価目的のところの、
0:10:18	注釈として米印の記載を追記してございます。
0:10:22	具体的には、経路内の水位を等と 3 号炉取水口 12 号の取水口及び放土工の水位の傾向は同様であると考えられることから、
0:10:33	3 号炉取水口 12 号取水口を遂行を評価項目として設定するといった記載の旨を追記してございます。
0:10:42	続いて 156 ページをお願いいたします。
0:10:48	こちらは不計算条件のうち影響確認地点についての説明になっております。
0:10:55	前回資料からの変更点としまして、テキストボックスの二つ目のマル。
0:11:00	3 号炉原子炉補機冷却海水ポンプの取水可能水位を下回る可能性の高い波源の選定を目的としまして、12 号の取水口の下降側を影響確認地点に設定しております。
0:11:13	なお前回の資料では、こちらの 12 号取水口下降側については、評価項目として設定しておりましたが、こちらの検討内容を踏まえまして影響確認地点に位置付けを見直しております。
0:11:28	続きまして変更点としまして三つ目の丸の下にあります米印のところをご確認ください。
0:11:36	敷地北側上昇側敷地北側 B 上昇側及び 12 号取水口の下降側については、設置許可基準規則の条文及び重大事故
0:11:46	等防止技術的能力基準の評価に関係しないことから、日本海東遠部に想定される地震に伴う津波の最大ケースとして選定しないといった記載の旨を追記してございます。
0:11:59	続いて 164 ページをお願いいたします。
0:12:10	こちらは計算条件のうち、パルスを考慮しない時間についての記載を変更してございます。
0:12:17	こちら評価方法については変更してございませんが、記載の適正化の観点というところから、詳細に記載を追加したという変更となります。
0:12:27	164 ページのテキストボックスの一つ目のマル。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:31	3号炉原子炉補機冷却海水ポンプの取水可能水位を下回る可能性の高い波源の選定を目的とした評価では、貯留堰を下回る継続時間に着目したパラメータスタディが基本になると考えられるが、
0:12:45	これに加えて、幅広に波源選定を行うことで保守的に評価する観点からパルスを考慮しない時間についても着目したパラメータスタディを実施しております。
0:12:56	ここでパルスの判定方法、パルスを考慮しない時間の算出方法については下表の通りとしております。
0:13:03	こちら表の左側にパルスの判定方法、右側に考慮しない時間の算出方法をそれぞれ書いております。
0:13:11	パルスの判定方法についてはステップ①、ステップ②の順に判定することとしまして、そのステップ①の内容としましては、
0:13:20	表中に記載してございます通り、3号炉貯留堰の天端高さTP-4メーターを、
0:13:27	一時的に上回るは形は短周期成分の葉系が大半でありまして、概ねTP-3メーター以下であることを確認したことから、このTP-3メーター以下のはKをパルスとする。
0:13:40	ということとしております。こちら判定例ではっきり書いておりまして、この緑色二重マルで示したものについてはTP-3メーター、
0:13:50	以下であるというところから判定結果を二重丸としてパルスとしております。
0:13:56	続いてステップ②、
0:13:59	虎TP-3メーターを上回るは系のうち、
0:14:03	失礼しますTP-3メーター上回る葉系については、感度解析結果を踏まえまして、このTPさえ-3メーター上回る時間は30秒未満の場合にパルスとする。
0:14:15	と30秒以上の場合にはパルスとしないといった判定にしております。
0:14:20	こちら判定例のうち、ピンク色の丸で示したものがパルスとするは形できてこちら判定結果0にしております。
0:14:28	または30秒以上になるものについては、判定結果発としておりまして、
0:14:34	これはパルスとしないと。
0:14:36	いう判定に分けております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:38	また表中の右側に考慮しない時間の算出方法ありまして、パルスとなるは形がある場合については、
0:14:45	パルスと下葉系の前後の貯留堰を下回る時間を合算した値にして算定しております。
0:14:52	パルスト成葉系がない場合については、パルスとしないは系の前後の、貯留堰を下回る時間のうち下回る時間が最長となる時間を、
0:15:02	として設定してございます。
0:15:06	続いて 165 ページをお願いいたします。
0:15:11	こちらでは先ほど説明したステップ①ステップ②以外の判定した場合について記載してございます。
0:15:18	上段のところでは形として貯留堰の天端を下回らない場合については、そもそもパルスがないというところで判定は不要としております。
0:15:29	でその判定結果は、配布で表記してございます。
0:15:34	メグパルスを考慮しない時間の算出方法としては、下回りませんので 0 秒という判定結果となります。
0:15:42	また貯留堰を下回るかけが一般のみの場合についてはこちらについても、パルス床、
0:15:48	貸して考える派遣はないので判定は不要とすると。
0:15:51	いうところから判定結果を－にしております。
0:15:55	また時間の算出方法としては中利益を下回る一般の時間を、
0:15:59	パルスを考慮しない時間として、
0:16:02	当時間を算出しております。
0:16:06	また表中の下段に米印で書いておりまして、2.7. 5 勝パルスの判定方法の妥当性確認においてパルスの判定方法の妥当性を別途確認してございます。
0:16:19	続いて 166 ページをお願いいたします。
0:16:26	こちらは先ほど説明したパルスの判定方法のステップ②の 30 秒未満 30 秒以上の根拠について、この感度解析を実施しその結果をもとに、
0:16:39	江藤、説明をしております。
0:16:41	こちらのスライドについては説明内容自体は前回のヒアリング資料と同様のため説明は割愛させていただきます。
0:16:49	ページ大きく飛びまして 356 ページをお願いします。
0:17:01	こちらでは補足説明としまして、2.7. 5 章、パルスの判定方法の妥当性確認の章を追加してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:11	357 ページお願いします。
0:17:15	こちら検討方針になりまして、一つ目のマル。
0:17:19	3号の原子炉補機冷却海水ポンプの取水可能性を下回る可能性が高い波源の選定を目的とした評価では、
0:17:27	貯留堰を下回る継続時間に着目したパラメータスタディが基本になると考えられますが、
0:17:32	これに加えて幅広く波源選定を行うことで保守的に評価する観点から、パルスを考慮しない時間に着目したパラメータスタディも実施しております。
0:17:42	このパルスの判定方法については下表の通り実施しておりまして、
0:17:46	この章ではパルスの判定方法の妥当性を確認することを検討の方針としております。
0:17:53	下表については先に説明したものと全く同様になります。
0:17:58	また対象のケースにつきましては概略パラメータスタディのステップ1の1の実施ケースを対象に確認を行います。
0:18:08	358 ページをお願いいたします。
0:18:13	こちら表中に健全地形モデルのパルスの判定結果を記載してございます。
0:18:19	この表の中に、パルス判定結果という項目がありまして-20 マルバツといった評価結果は記載されております。
0:18:28	このうちニジュウマルに該当するものがパルスになる葉系があるケースというところで、この健全地形モデルでは5 ケースほど確認できました。
0:18:38	それは形を、359 ページと 360 ページで記載してございます。
0:18:44	359 ページをお願いいたします。
0:18:49	こちら判定結果の背景となりまして、
0:18:54	例えばはK1を確認していただきますと、
0:18:58	拡大したところの箇所、青い線の貯留堰の天端高さTP-4メーターと、
0:19:05	閾値としておりますTP-3メーターの赤破線を記載してございます。
0:19:11	このうち、長井関の天端である青井線を下回る派遣については、
0:19:16	アルファベットのABCの三つが記載されておりまして、このABCのところ、3回下回ってございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:24	このうち、AとBの間で上回る派遣については、TP-3メーター以下となりますので、
0:19:31	判定結果としましては二重丸として記載してございます。
0:19:36	この20万についてはパルスとするところになりまして、そのためAとBを足したものを、パルスを考慮しない時間として算出しております。
0:19:45	一方、この×西田はKにつきましては、TP-3メーター上回る時間が181秒と。
0:19:53	30秒以上となりますのでこちらはパルスとしないという判定結果にしてございます。
0:19:59	こちら同様に整理してございまして、
0:20:04	362ページお願いします。
0:20:09	こちらは健全地形モデルで先ほど健全地形モデル説明しましたがこちらのページでは防波堤の損傷高齢者地形モデル①も同様に整理してございます。
0:20:20	ここで363ページをお願いします。
0:20:25	このうち右上のはK7においては、算定結果、ピンク色の丸で示したは形が示されてございます。
0:20:34	こちらピンク色の丸についてはTP-3メーターを上回る時間が14秒というところで、こちらは30秒未満のためパルスとして判定しております。
0:20:45	こういった流れで、
0:20:47	防波堤の損傷を考慮した試験モデル②③も整理してございまして、まとめたページが、374ページお願いいたします。
0:21:04	こちらは2.7.5章のまとめとなりまして、3号炉原子炉補機冷却海水ポンプの取水可能性を下回る可能性の高い波源の選定を目的とした評価では、
0:21:15	貯留堰を下回る継続時間に着目したパラメータスタディが基本になると考えられれば、これに加えては、幅広く波源選定を行うことで保守的に評価する観点から、
0:21:26	パルスを考慮しない時間に着目したパラメータスタディも実施しております。
0:21:31	またパルスの判定結果の妥当性として以下を確認しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:35	3号炉貯留堰の天端高さを一時的に上回る派遣については、短周期の成分が耐えの形が大半でありまして、概ねTP-3メーター以下であることを確認いたしました。
0:21:48	こちらパルスの判定結果が二重マルになるケースが該当しております。
0:21:53	これを踏まえてステップ①の判定基準とTP-3メーターを閾値にするところの判定基準については妥当であると考えております。
0:22:02	二つ目の矢羽根、ステップ②の判定基準。
0:22:06	TP-3メーターの0時間が30秒未満か30秒以上かについては、感度解析化を踏まえて設定していることからこちらについては妥当であると考えております。
0:22:18	また、一時的な水位上昇時間のうち貯留できないの強い回復が見込めると考えられる派遣については、別にしていないことを確認いたしました。
0:22:28	こちらパルスの判定結果は×のは形の説明となります。
0:22:33	また375ページに、
0:22:36	パルスに該当するは形をすべて抽出した一覧表となっております。
0:22:44	ここまでがパルスの判定方法の妥当性確認となりまして、ちょっとページ戻りますが、228ページをお願いします。
0:23:04	と228ページでは、修理履歴の容量と、
0:23:08	取水可能時間と途中離席を下回る時間の比較を実施しております。
0:23:14	この貯留堰を下回る継続時間及びパルスを考慮しない時間は、累積の容量、取水可能時間の7680秒と比較して、十分に小さいことを確認しました。
0:23:26	またこの中累積の容量については、今後評価する、し水路-7の堆積を考慮しても、十分な裕度を確保できる見込みであります。
0:23:37	続きまして290ページをお願いします。
0:23:48	290ページでは、2.7.1のパラメータスタディ評価因子の影響分析のうち下回る時間の分析となります。
0:23:57	このテキストボックスの一番下、三つ目の丸のところに、パラメータスタディのフロー、概略パラメータスタディは貯留堰を下回る時間に対して支配的因子で行われていること。
0:24:08	詳細パラメータサジは従属的因子で行われていることを確認したの旨の記載を追記してございます。
0:24:16	ちょっとページ移りまして333ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:32	こちらの 333 ページでは、断層パターン 1 の分析の検討方針を記載して ございます。
0:24:39	とテキストボックスの中段に地形モデルの違いによる分析と、あと下の 方に断層パターンの違いによる分析というところのこの二つの分析によ って構成する諸所建てにしております。
0:24:53	このうち地形モデルの違いによる分析については、4 月 11 日の前回ヒア リングで説明した内容と同じ内容になります。
0:25:02	これに加えて、今回の資料では断層パターンの違いによる分析を追加し てございます。
0:25:08	内容については 342 ページお願いします。
0:25:20	藤 342 ページと 343 ページ、この見開き上下のページで、断層パターン 1 から 8 について、最大水位上昇量分布と水位時刻歴派遣を並べて記載 してございます。
0:25:34	342 ページのテキストボックス一つ目のマル。
0:25:38	断層パターン 1 と 5 では水位低下後の水位上昇により、3 号炉取水口に おいて局所的かつ一時的に水位変動量が大きくなることを確認いたしま した。
0:25:50	また断層パターン 1 と 5 では傾斜方向傾斜角が同様でありますので、 水位変動の特徴は共通して見られたと考えております。
0:25:59	またこれ以外のものでは、推定過誤の整理上昇量が発生しているもの の、押し波の一般目もしくは 2 羽目に、最大水位変動量が発生するこ とを確認いたしました。
0:26:13	続いて 344 ページをお願いいたします。
0:26:18	こちらでは断層パターンについての津波の伝播状況をまとめたものにな っております。
0:26:25	水位低下後に水位上昇する際の津波の伝播状況については、断層パター ン 1 と同様に、以下の特徴を確認いたしました。
0:26:34	西から東へ伝播する津波については、北防波堤がないため、構内へ流入 し、護岸に沿って北西から南東へ津波が伝播し、
0:26:43	3 号炉取水口の形状により水位が増幅することで局所的かつ一時的に水 位変動量が大きくなるというような特徴が見られました。
0:26:51	と以降 345 ページから、
0:26:55	350 ページにかけて断層パターン 3 から 8 についても同様に分析してお りまして結果としては同じ結果がえられております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:06	等を通じ 351 ページをお願いします。
0:27:13	と 351 ページでは、断層パターン 1 と 5 を詳細に比較してございます。
0:27:19	断層パターン 1 と断層パターン 5 の最大静上昇量分布と水位時刻歴派遣を詳細に比較した結果として、
0:27:26	と最大水位上昇量分布については、概ね同様の分布であると考えております。
0:27:33	また、水位時刻歴は系については、敷地に到達する時刻は断層パターン 1 と断層パターン 5 で異なるものの、
0:27:41	形の概ねの形状については同様であると考えております。
0:27:46	断層パターン 1 と断層パターン 5 では、波源の特性は同様であると考えておりました、
0:27:52	当解析の結果として断層パターン 1 の方の最大水位変動量が大きくなったと考えております。
0:28:00	同下側に結論を書いております一方、解析結果としまして西側にある断層パターン 1 の最大水位上昇量が大きくなることを確認したことから、
0:28:10	パラメータスタディのステップ 3 においてさらに西側に移動させた検討を実施して、
0:28:16	その結果水位変動量が大きくなることを確認してございます。
0:28:20	またその西方向の移動量については、2.2 章で想定した日本海東遠部の範囲を余裕を持って網羅できる配置となるように設定しております。
0:28:29	以上より、保守的な波源選定の観点から、十分な検討、
0:28:34	波源位置西側については十分な検討が実施されていると考えております。
0:28:39	ところ、以上で説明を終わらせていただきます。
0:28:47	はい規制庁タニです。
0:28:49	それではですね資料の方確認に入りたいと思います。
0:28:53	まず私の方からなんですけど基本、前回のヒアリングから追加して資料をいくつかつけているということで、
0:29:04	あれですね回答の方針というかそういったものは基本的には、
0:29:09	前回のヒアリングから変わってるようなもんじゃないってことだと思うので、いきなりちょっと中身について確認を始めたと思います。
0:29:19	えっとですねえ。
0:29:22	まずちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:23	3 ページだとかで、
0:29:27	地形の変更のことを
0:29:29	説明されています。これ
0:29:33	これまでのコメントに対する回答を 5 ページで、
0:29:38	これまで 1 回答してきたことをさらに今回の
0:29:42	地形の変更に伴って答え直したというこの辺の説明は、
0:29:47	大体言われてることがわかったかなと思ってるんですけど。
0:29:51	これってそもそもですね。
0:29:55	基本地形変わって、
0:29:58	当院分についてはですね確かにこれ途中の検討ケースの中で、こういったもう、
0:30:05	何て言うんすかね。
0:30:07	4 ページのような検討をやっているから、基本地形として作業するものは、を変えるだけで、
0:30:15	何ていうんすかね、再計算とかも特にしなくて、
0:30:19	もうすでに計算結果持ってるんだってというような話だと思うんですけど、これって日本海東遠部の話としてはそれはわかったんですけど、他の波源については、
0:30:31	どうされるつもりなのかっていうのをちょっと確認させてください例えば、地震に伴う津波でも他のは下もありますよね。
0:30:41	地震以外の要因の津波についても、多分、基本ケースっていうのは健全地形で計算してるんじゃないかと思うんですけど、その辺の扱いをちょっと確認させていただいていいですか。
0:31:01	当北海道電力の青木です。
0:31:03	他の波源というところで、地震に伴う津波としましては、すいません、2 ページをお願いいたします。
0:31:12	今回日本海東遠部に特化して説明してございますが、地震に伴う津波としては海域活断層に想定される地震に伴う津波、また地震以外の要因に伴う津波については、四つの
0:31:24	火山による山体崩壊に伴う津波等を記載してございますがこれらの解析についても、基本地形モデル自体が変更となりますので、
0:31:33	4 ページで言うところの右側の、
0:31:38	敷地北は膨張での損傷状態①の変更後の方の基本地形として解析し直すことを考えてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:46	以上です。
0:31:49	規制庁谷です。
0:31:52	申し直でもう進めてるってということなんですか。
0:32:07	北海道電力の室田ですけども、今回
0:32:11	規制棄損の膨張てとかですね、建屋とかは、敷地の10メートル盤より上にある施設でして、
0:32:20	先ほど青木の方から説明した、海域活断層であったり、地すべりの津波ってというのは基本的に、
0:32:27	10メートルば伴まで遡上しない。
0:32:30	波がほとんどですので、
0:32:33	昔の解析結果が使えるというか、そういうような扱いですもし使えないものがあればその部分だけ再解析するようなイメージです。以上です。
0:32:44	はい。お考え確認できました。
0:32:48	そういうことですよ
0:32:51	要するに変わってる地形があったとしてもそこまで、そもそも津波が来なければ、
0:32:56	解析し直す必要ないんだってということかと思しますので、それはあれですれもし、そういったものがあれば、
0:33:06	検討し直すっていう基本的な考えがあるっていうことで確認できました。
0:33:11	あとは、それに関連してというか、この
0:33:16	防波形防火低の損傷ケースも、
0:33:19	この日本海東遠部では結構、
0:33:23	ちゃんと組み合わせてやっているってということなんですけど。
0:33:27	他の津波、他の波源についてはこういった検討は、今後どう、どうされようとしてるのかっていう考えだけちょっと確認させてください。
0:33:38	北海道電力奥寺でございます。他の津波については、日本海東遠部の津波とレベル感を比較すると、相当小さいレベルですので、
0:33:51	防波堤とか細かい検討の方は、することは、考えておりません。以上です。
0:34:01	はい規制庁タニそれじゃ今後そういった説明もされるっていうことで今は理解しました。
0:34:09	その波源が波源からの津波は相当小さいってというのはあれですかね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:14	地震以外の要因の津波も含めて、相違への、今の説明になるってことな んですか。
0:34:27	北海道電力の室田ですけども地震以外の要因の実施以外の要因に伴う津 波で一番大きいのは陸上地すべりのかわしらというものになるんですが それでも、
0:34:39	最大7メートル程度だったかと思いますので、日本海東遠部2と比較す れば、大分小さいので、
0:34:46	防波堤のパラスタは不要と考えています。以上です。
0:34:54	規制庁タニそれを聞いてちょっとよくわからなくなってんですけど も、川平が選ばれるってということが防波堤の損傷パターンと関係ないか らいいんだっていうんじゃないかって、
0:35:05	川平が日本海東遠部より小さいからいいんだってという説明なんですけど ちょっとどちらかだけちょっと確認させてください。
0:35:24	私の言い方悪かったですっけ
0:35:27	川平でいろんなケースは別に、
0:35:30	考えなくていいんだっていう話をしているのか。
0:35:34	いろんなケースを考えても川平が圧倒的に多いから、それは選ばれる津 波が変わらないんだ。
0:35:41	選ばれる波源が変わらないから、こんなことしなくていいって言うて るのかちょっとどっちの話なんですっけ。ちょっとよくわかんなくなった んで。
0:35:53	北海道電力奥寺でございます。地震以外の要因に津波の中でのレベル感 を比較しますと、
0:36:01	かわしらの津波が圧倒的に大きいので、部分だけ考えれば良いかなとそ ういう意味で防波堤の検討は考えてございません。
0:36:18	規制庁佐口です。すいませんちょっと
0:36:23	話が、
0:36:25	ごっちゃになってるんで、確認させていただきたいんですけど。
0:36:29	要はその
0:36:30	津波による影響という観点と、それから、
0:36:35	波源が変わるか変わらないかという観点と二つあると思うんですけど も、最初にお答えされたのは、つまり、
0:36:47	津波の影響という観点では、例えば日本海東遠部の、これを考えておけ ば、それより他の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:36:57	ものっていうのは明らかに小さいので、だからこの日本海東遠部の津波でその影響評価についてはカバーがまずできますと。
0:37:07	で、2点目については、例えばこの棒過程をその損傷のいろいろいかんによって、例えば、
0:37:18	地震以外の要因だったら今川平の、
0:37:23	陸上地すべり、これが圧倒的に大きくなって、それが例えば他の
0:37:31	要因によるものを、との逆転するかどうかという観点で見たときに、それはこの棒はての、いろいろ組み合わせとかを変えたとしても、
0:37:43	それが変わるような、
0:37:45	レベル感ではないという、多分そういう、
0:37:49	今、
0:37:50	2位、2個に分けてご説明あったんですけど、結局それって、両者とも、だから結局、
0:37:58	防波堤、
0:38:00	の、要はいろんなケースを考えなくても影響がないんだよと、そういう御説明
0:38:08	だったのかなと私は両方、両者を考えてもですね、っていう受けとめ方をしたんですけど、そういう理解でまずよろしいんですかね。
0:38:54	北海道電力の室田でございます。佐口さんの理解で良いと考えてまして。
0:39:01	東遠部、
0:39:05	地震以外の要因に伴う津波を比較しても、
0:39:08	東遠部の圧倒的に大きいので防波堤の影響確認は東遠部で行うと。で、
0:39:15	もう一つが地震外の要因に伴う津波については、
0:39:19	火山であったり海底地すべり陸上地すべり、
0:39:23	の推移を比較して、
0:39:26	川白圧倒的に大きいので他の。
0:39:28	もので
0:39:30	防波堤のありなしを検討したとしても、評価結果が変わらないと考えてますので、
0:39:37	パラスター不要と考えております。以上です。
0:39:45	はい。規制庁佐口です考え方はわかりましたので。であれば何か

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:50	記載するのはちょっとあれかもしれないんですけどそれは多分今後の話になると思うので、いずれにしても考え方だけは今回確認できましたありがとうございます。
0:40:06	規制庁谷です。さっきの説明っていうのは今後この資料じゃないんだと思うんですけど、ちゃんと説明できるようにお願いしますね。
0:40:16	あとはですね。
0:40:21	さっき説明があったちい、次の西側に波源を移動させて検討したよっていう話で、
0:40:31	前回のヒアリングを踏まえて、
0:40:33	パターン1パターン5のは形がこうなってるんだとか言って比べてるっていうところまで
0:40:41	整理されて追加されてるっていうのがあったんですけども、あれ何ページでしたっけ。
0:40:52	これが351ページですかね。
0:41:02	結局、私ちょっとこの間聞いたのが、これをどこまでどこまで考察するかっていう話ではあるんですけども、
0:41:12	何でパターン1の方が遠いんだけど、
0:41:17	単語より水位が高くなるっていう何かそういった効果、その現象についてのお考えって何かありませんかっていうようなことを聞いて、多分この
0:41:29	資料を作っていたいたってのもきっとあるんだと思うんですけど。
0:41:34	何か
0:41:35	説明は一応されてるのが何かパターン1とパターン5では波源の特性は同様ですね、同様っていうのは見てとれますんで、解析結果として、パターン1の最大水位上昇量が大きくなった。
0:41:49	これは、
0:41:50	どういう意味なのかなって思う。
0:41:52	をもってこれはただ事実としてこうなんですよっていう話をしているだけなのか。
0:41:58	たまたま、パターン1の方が大きいんですよっていう話をしてるのか。
0:42:03	ちょっと僕が知りたいのは、
0:42:07	なんでここだけちょっと遠いところが、
0:42:11	大きくなるのか、何か考察。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:13	何か考えがあったら、
0:42:15	ちゃんとし、数、整理して、考えを示して欲しいってことだったんですけど、これよくわからないってことなんですか、確認させてください。
0:42:25	北海道電力奥寺でございます。
0:42:30	ここの部分については、電波状況とか、例えば8Kを重ね合わせることで、
0:42:37	特徴的なものが出てくるかなというふうなものを期待してですね、いろいろ比較してみたんですけども、
0:42:46	わかったことがまさに今おっしゃったように、波の形がは形が同様であったりちょっと位相が違うとかですね、到達時間が違うとか、
0:42:58	あと伝播の仕方がほぼ同様であった取水口で高くなるメカニズムもほぼ同様であったということで、水位に差があるかないかという、
0:43:09	その差分を、
0:43:12	8メートルとかのレベル感に対して数十センチぐらいの差しかなかったの、ちょうどこれ以上考察が難しかったというのが正直なところで
0:43:23	ということで、違いの部分突き詰めたんでこの部分が差としてわかりましたというようなまとめと、
0:43:31	結果してこういう数字がほぼ同様の波源の特性から、市の方で獲られましたとそういうまとめとなっております以上です。
0:43:50	はい。規制庁谷です。
0:43:51	ちょっと何か気になったのは8メートルっていうのに対してこの50センチの差って大したことないって、その言葉がちょっと気になったんですけども。
0:44:00	やっぱり、50センチも違ったらどうかなってというのは、あるのと、
0:44:07	なんかでも、
0:44:09	言われてるように、
0:44:12	何か反射だとかそういったこととかもあって、遠いほうが大きくなる。
0:44:18	ていう。
0:44:20	結果だと思ってるっていうよくその辺は、どここの後半者が来てるのとかそういうことまではよくわからないけど、ここはとにかくちょっと結果としてもパターン1の方が大きかったんですよだけ、
0:44:32	その沖遠い方はさらにというところも確認した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:39	結果はこうですよって示しているだけっていうような、そういうことです ね。そういうふうに理解しました。北海道電力奥寺でございますちょっと 言葉遣いが悪くて誤解を招いたかもしれないんですけど、大したこと ない。
0:44:55	と、軽視しているような意味合いで、ちょっと言ったつもりではなくて ですね、は形の比較でちょっと大局的なところの違いが特徴的に見られ なかったもんですから、
0:45:08	今おっしゃったように、例えば、ちょっとした位相の違いによる細かい 流れの中の組み何て言ったらいですかね。
0:45:18	複合的な要因で最終的に結果がこの程度違うということなんだろうなと いうんですけど明確にどれがどうだからというところまで考察できな かったということで先ほどのような説明をさせて、
0:45:31	いただきました。わからない部分、これ以上突き詰められないという ところもありましたので、網羅できる範囲に対して、も、日本海東遠部の 範囲を、
0:45:43	余裕を持って網羅できる配置となるようもう少しパラメータスタディ に相当するものもやりましたと、そういう説明をさせていただい
0:45:53	ております。以上です補足です。
0:45:59	はい規制庁タニですこれじゃあれですかすみませんしつこくって
0:46:04	これは北海道電力としては、ここのこういったケースになってくると、 ここの、こういう地形ケースでこの断層パターンでこの評価地点って いうのは、
0:46:15	多い方が高くなるっていう傾向があるから遠くまで持っていった。
0:46:22	遠いほうが傾向、高高久なる傾向があるっていう考えは、基本的には持 ってるのか、そのたまたま何かどこがどこぐらい、どこぐらい離れた ら、
0:46:35	高くなるのかって言うのはよくわからないんですけど、よくわからない んだけど、
0:46:42	パターン
0:46:43	5パターン1パターン、さらにこう西側もとにかく置いてみたって いう、何て言う傾向をとらえて、そういうことをして、ちゃんと網羅 できているっていう話なのか。
0:46:55	それとも何か、とにかくパターン1の方が、結果として大きかった から、さらにちょっと西側も見てみたっていうだけの話なのかという その辺の考えは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:05	ごめんなさいわかりにくい説明になっちゃいましたね。とにかく北電としては、西側に寄せた方がここは高くなるような場所だと思ってるんですがどうなんですか。
0:47:26	北海道電力奥寺でございます。
0:47:29	351 ページ目をご覧ください。
0:47:32	結果としてですね西側にある宇田断層パターン 1 で、西側の方で大きくなるというような結果が出ていたと。
0:47:43	そういうことを確認したことから、さらに西側で、
0:47:50	移動させた検討を実施して、水位変動量が大きくなることを確認したと。
0:47:57	ということで最終的には
0:48:01	西橋の範囲としては東遠部の範囲を網羅できる配置できる配置として設定して、
0:48:08	結果を確認した結果、
0:48:11	確認したということになります。以上です。
0:48:15	ちょっと。
0:48:17	すみません質問の仕方が僕の、僕もよくない区って、例えば、
0:48:22	断層パターン 1 と、今すぐく寄せたケースとの間に例えばもっと高いのがあるとか、そういう発想は、そういう問題意識っていうのは特に持ってないんでしょうかっていう。
0:48:34	そういうことなんですよ。西側に寄せれば寄せるほど高くなるんだから、思いっきりこう網羅できる、こう考えられる一番西まで寄せましたっていうんだったら、私この検討は十分、
0:48:46	十分寄せているし、寄せ過ぎなぐらい寄せてるっていうふうに思うんですね、西側の方が高くなる。
0:48:53	ていう考えでやってるんだったら、
0:48:56	だけれどもそうじゃなくて、何かよくわかんないけど、
0:49:00	たまたま高くなるようなところが出るんだとかいう話だったら、ちょっとその間とかどうなんだろうなっていうのが、僕が確認しているこの趣旨なんですけどその辺は、ちょっと考えを、
0:49:14	はっきりしてもらって、会合に進みたいなと思ってんですけど今どう考えてますか。
0:49:37	北海道電力、奥寺でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:40	西側に行くと値が大きくなる傾向があるのだなということで西橋まで寄せたという、
0:49:50	検討を行ったというのが我々の趣旨となります。
0:49:54	以上です。
0:50:00	はい、わかりました。わかりましたというか事実関係わかって、よく理由がわかんないけど、西側の方が高くなるから、西側に目いっぱい寄せましたと、というような説明ってということかと。
0:50:14	思います。
0:50:17	なんかでもちょっと何か考察的なものがあればですね今の考えってというのがすごくすんなり入ってくるんですけど、
0:50:27	はいお考え自体はわかりました。
0:50:31	次の確認に行きたいと思います。
0:50:43	規制庁佐口ですけどすみませんちょっと細かいことなんですけど、例えばその 346 ページとか 300、
0:50:50	47 ページで係左上の各
0:50:54	この
0:50:55	図の左上に書かれている何分っていうのと、
0:51:01	351 ページ、実際のは形があるんですけど、この時間、
0:51:06	っていうのは、一応これ対応してるって、
0:51:10	考えていいんですよ。
0:51:20	北海道電力の青木でございます。
0:51:23	衛藤。
0:51:25	344 ページからお願いします。
0:51:32	基本的に水位時刻歴は形で書いてる時間と、このスナップショットで書いてる時間については一致させております。
0:51:41	一方 344 ページとか 45 ページの細かいところを比較してくると、
0:51:47	もうちょっとスナップショットで載せている時間が波源ごとに違うというところがありまして、その違う要因についても補足させていただきますと、
0:51:57	断層パターンの位置によって津波が到達する時刻が違いますのでそれに応じてこのスナップショットの時刻をそれぞれか断層パターンごとに変えて記載してございます。
0:52:08	ここで書いている 1 としましては水位低下後に水位上昇が発生しますので、その時刻にピックアップしますと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:16	例えば 344 ページの断層パターン 2 だと、34 分 5 秒から 35 分 15 秒を見ておけば、その水位のメカニズムがわかるだろうというところでこの事故時間を出しております。
0:52:29	一方 345 ページの断層パターン 3 でいうと、33 分 10 秒から 35 分の間のスナップショットを見れば、このメカニズムがわかるであろうというところからこちらは下に応じて時間を変えているというところになります。
0:52:44	こちらでちょっと説明以上とさせていただきます。
0:52:49	はい規制庁佐口です。わかりました。で、
0:52:55	何でかっていうと、
0:53:00	一応これだから、そのピークとなる時間、
0:53:03	ていうのですね 300。
0:53:06	51 ページで、
0:53:08	それぞれ書かれていて書かれてる時間っていうのは、ちゃんとこの、その前のところの範囲に入っているという理解で。
0:53:18	いいのかなというその確認なんですけど、これ。
0:53:22	入ってないものがあるとかそういうことはないって大丈夫ですか。
0:53:30	北海道電力の青木です。
0:53:32	棒、水位低下後から水位上昇までの時間は網羅するように、すべて整理してございます。
0:53:39	以上です。
0:53:49	県難病と書いてるから、わかりづらいですけど、
0:54:06	伊丹さん入ってないでしょう。
0:54:09	そういう趣旨だとは言っていないですね。
0:54:14	うん。規制庁田井ですけど今マイク。はい。入りっ放しになってますけど、あれなんですかこの 34.9 ぴったりっていうのが、
0:54:23	この絵には、ぴったりのところは、絵としてはないってことなんですか。いや、あるよ。すいませんナグラです。
0:54:31	口出し悪いけど 337 ページ。
0:54:35	パターン 1 の 34 分後 15 秒。
0:54:40	これがパターン 1 の、
0:54:43	最大は形が出ている、34.9 分と一致してるんじゃないですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:52	それで阿藤パターン5の方が、これがちょっとずれてるかもしれないけど32.6分って言うてる読み取り値が正しいのがもうちょっと進んでるところで出ている、
0:55:04	32.6分って言ったなら35秒ぐらいの方見え見るんだけど、347ページを見ると32分40秒のところに最大値が出る。
0:55:15	ここら辺かなと思います。
0:55:22	うん。いや、だからとらえていてそこはちゃんと、
0:55:27	何て言うのかな丸印を入れて最大値が出てますよって言うところを言うてるのでそこでデジタル値が、
0:55:33	合ってるかってのはあるんだけど一応とらえているんですよね。水位分布としてのスナップショットでほぼとらえているかなという気がちょっとしました。
0:55:43	北海道電力奥寺でございます。ございますパターン1もですねパターン5もですね、取水口に波の先端が、
0:55:54	伝播してすぎるといような現象がとらえられるようにスナップショットをとってますので、そういう意味では、水位時刻歴は形の下がって上がってといような、
0:56:06	現象の間のスナップショットをレジデンス口でリッターリッターではないんですけど、
0:56:14	その間の現象はスナップショットと時刻歴は形で、同じような部分をとらえているという、ちょっと
0:56:24	この
0:56:25	秋から8種類のスナップショット大体波の電波から取りすぎるまでっていうのを合わせると、時間帯と合わせるの難しいんですけど、
0:56:35	そんなような感じとなっております。
0:57:37	規制庁サグチですみません
0:57:40	ちょっと、
0:57:41	私見失ってしまったのでページ数を小断層パターン1と断層パターン5が、何か見開きみたいな感じで、このスナップショットが見えるようなページでなかったでしたっけ。
0:57:57	ごめんなさいスナップショットというのは時々刻々と変わるものですね。
0:58:03	北海道電力の青木です。もう見開きで整理しているようなスライド構成にはなってありませんが、断層パターン1の電波状況につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:58:14	337 ページ。
0:58:18	断層パターン 5 については、
0:58:21	347 ページ。
0:58:25	337 ページと 347 ページを見比べると阿蘇破断位置とを、
0:58:31	電波状況の違いがわかるかと思います。
0:59:03	はい。規制庁佐口です。わかりました。ありがとうございます。いや、そうすると、結局のスナップショットとか見るとほとんど変わらなくて、その何ていうんすかね。
0:59:14	んな波が来てる方方向とかそういうのも、そうすると、実は、結局、そのパターン 1 とパターン 5 の間のですねいわゆるなんていうか、海底地形のこの、
0:59:27	差がちょっと出てたりとかそんなようなことはないんですかね。
0:59:37	北海道電力奥寺でございます。甲斐なMEがこの解析を決める条件ってのは海底地形もありますし初期条件もありますし、
0:59:49	いろんなものを、電波のタイミングとか反射のタイミングとかいろいろな要因が複合して現象が起きると考えておりますけれども、
0:59:58	という意味では、今おっしゃったところも要因の一つかなと思いますけれども、何が効いてるかっていうのはちょっとこのレベルでは、我々としては考察できなかったところですよ。以上です。
1:00:17	はい。瀬口ですわかりましたありがとうございますこれはあくまでもごめんなさい個人的な感想というのかというのは 351 で見るとは県としてもほとんど変わらないので、
1:00:27	なので基本的にやってくるその時間っていうのは当然違いますけど、方向とか、何かそういう構成とかそういうのは関係なくて、とで、
1:00:39	この
1:00:40	351 ページを見る限りではこれって条件は基本的に同じなんですよね。パターン 1 のパターン、そうすると結局、この 1 から 5 の間の違いが、
1:00:51	ちょっとデータっていうだけかなと、ごめんなさい。個人的に思っただけなので、いずれにしてもちょっと考え方とかいろいろ、
1:00:58	そういうところはわかりましたのでありがとうございます。
1:01:06	名倉です。
1:01:10	30437 ページと 347 ページの、
1:01:15	色の、
1:01:17	濃淡の差っていうか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:19	こっからうかがい知れるのは、
1:01:23	どちらかというと、
1:01:27	パターン5の方が、
1:01:31	全体の水位変動がマイナス側の方に少し、
1:01:35	引っ張られていて、
1:01:37	その分青いコンターの、
1:01:39	馬場が違ってるとい、
1:01:42	ところ。
1:01:44	上昇側は多分、
1:01:49	上昇側も差があるんだけどどうした場合の下降側の方の差が、
1:01:54	見えるという。
1:01:55	いうふうに、何か、
1:02:00	それぐらいしかわかんないんですけどね。
1:02:06	北海道電力奥寺でございます。今のところおっしゃった趣旨の確認をさせていたきたいと思うんですけど。
1:02:14	例えば、
1:02:17	330
1:02:20	7ページの、例えばですが、下から、
1:02:25	下の段の、
1:02:28	左から1番目の八つ、いいますと、
1:02:35	337ページでは、
1:02:38	城田の、
1:02:40	スナップショットの左下の部分が白い部分が多いのに対して、
1:02:46	347ページでは、青系の色の範囲が、
1:02:52	広井と白い部分が少ないとする、そういったようなしゅっ椎野。
1:02:57	内容でしょうかおっしゃったことは、
1:03:00	ナグラです。そういうことです。
1:03:03	若干、
1:03:06	347ページの方が青い色が若干、コンターが少し、
1:03:12	濃い目になってますねっていう。
1:03:16	そういう意味で少なくとも敷地に到達した波に関しては、
1:03:23	全体の振動の幅も少ないのかもしれないけどマイナス側に寄っているという、そういうふうな特徴が、
1:03:33	あるのかなあというふうには見えますね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:37	そこからどういうふうにそれを、
1:03:42	見ていくかっていうことかもしれないですけどね。
1:03:48	あんまりこう、津波のは形でやんないんだけどは形の分析とか、
1:03:53	ホシしてみると、もしかしたら何か、
1:03:57	見えるのかもしれないですけど、
1:03:59	あそこはやってもわかんないかもしれないですね。
1:04:02	ちょっとここら辺は、
1:04:05	少し、
1:04:08	説明性のお話だけなので、
1:04:11	そういう意味では、
1:04:13	少しここは継続的に
1:04:18	環境されたらいかがから考察されたらいかがかなというふうにちょっと 思いました。以上です。
1:04:24	北海道電力の室田ですけども 351 ページを見ていただきたいんですが、 これ断層パターン 1 と 5 の、
1:04:33	右側の時刻歴は形で 1 と簿の同じ地点で、取水口の位置で比較した発見 を載せてます赤いものが、
1:04:44	パターン 5 でした今名倉さんがおっしゃったように、取水口位置で見ても、
1:04:48	パターン 5 の方が下がっていると。で、そのあとの上り側を見ても、
1:04:55	パターン 5 の方が下がった分、
1:04:59	上昇側も少し、
1:05:03	低くなってるというか、そういうような傾向は、は系から見れています。 以上です。
1:05:21	規制庁谷です。はい。
1:05:24	ここの考えは僕さっき言ったように、北海道電力がちょっとこれ遠い方が 高くなる傾向があって、それは一番遠いところまでやるのが、高いも んだと考えるとやってるかどうかっていう。
1:05:37	その辺の、僕は考えが、嘘。そういうロジックがですね、確認したかっ たというところありますので、
1:05:45	はい。考察もつけられるんだっただらつけていただいたらと思います。
1:05:51	あとはですねえ。
1:05:53	ちょっとまた話変わってしまうんですけど、164 ページで、
1:06:01	これ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:04	結局、
1:06:06	パルスを考慮しない時間、これをこう考える時は、
1:06:13	30秒、1メートルー3メートルと30秒っていう、
1:06:18	ここがまず、大事なコース数値なんですよと。で、要す1-3メートルを超えるような、
1:06:28	波が来30秒以上来たらリセットというか、そういった考えになるんですよっていう。そそこまずちょっと一番最初に、
1:06:39	説明してもらった方がいいかなと思ってこの
1:06:42	んな、なんて言うんですかね。
1:06:46	パルスの判定はこうやりましたっていうの空孔始まると、何かステップ1ステップ2ってこうなんか、
1:06:54	薄い何何かよくわかりにくいんですよ。で、だから、どういう考えでやってるかっていうのをこれ多分
1:07:03	説明にはあったはずなので、文章にしたらいんじゃないかなと思ってるのと、それはわかるようにしてください。で、あとこのね、
1:07:12	パルスの判定方法のところ、判定結果の二重マルだとか、マルだとかバツだとかっていうのがこれがすごく何なのかなって思ったんですけど、これ、
1:07:23	ただ単にあれなんですかね
1:07:25	その後段の、
1:07:28	安定の
1:07:29	たとえ300、
1:07:32	360例えばですよ、60何ページとかにある。
1:07:36	ここで図示。これはこういう判定に使ったんだよってこういう、判定根拠があるんだよというこの、
1:07:45	目に、この凡例判例というか、記号をつけてるっていうことなんですこの丸の方が、とても良いとかバツは駄目なんだとか、
1:07:56	そういうそういう意味ではなくって、
1:08:00	何ていうんですかね。ここのページではあんまり意味がないことなんですか判定結果っていうのは、
1:08:06	何なのかよくわかりませんっていうことなんですけど。
1:08:12	北海道電力の青木です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:15	164 ページで、この判定結果二重マル、マルバツというところ自体、何でここに記載しているかというところは、直接的にここのページで説明する内容ではありませんが、
1:08:28	乙、認識されてますように 357 ページの 2.7. 5 章のところで説明するために、こちらでも記載をしているというところになります。
1:08:39	164 ページと 100357 ページの両方で、この判定結果を書いてまして、この表を整合させるために、
1:08:49	この 164 ページ側でもこの判定結果書いてるというところになります。
1:08:55	藤説明以上です。
1:08:57	やってることはわかりましたんで、
1:09:00	はい。これちょっと最初、このページを独立で読んだら、何なんだろうなって、きつとなってしまうので、何かこれこんなこの判定結果っていうのはここ、最後の、
1:09:12	何とかって、最後の、何何何とかの節で、
1:09:17	何とかの項で使うんですよか何かこう入れとけばまあ、
1:09:21	誤解はしないのかなっていうのと、だからあれですねこれニジュウマルっていう、
1:09:26	これ別に、
1:09:28	③×とかじゃなくて、ただの、何でもいいんですよね記号 0 がいいとか、そういう意味が全然ないってことで理解しましたけど、そういうことです。
1:09:41	北海道電力の青木です。と二重丸と丸に差はないので、特に意味はないというところになります。以上です。
1:09:51	北海道電力奥寺ですけど、若干確認なんですけれども、今、164 ページとかで、
1:10:03	一時的に上回るは形が短周期成分は形が大半だ、なのでこういう基準を作ったとかその辺の考え方についてこのあたりで、
1:10:14	明示的にわかりやすいように書くということと今、判例が㊸〇〇×とかいろいろ書いてあります。こういうものが判例であって、こういった判例の記載については、
1:10:27	後段の何ページ以降何章以降で使うとそういうようなものの繋がりがわかる、わかるような形でまとめた方がわかりやすいというような
1:10:40	コメントでしたでしょうか確認でしたでしょうかその辺をご確認させてください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:47	規制庁谷ですけどその通りです。
1:10:50	中身は今聞いてみて、わかりましたので、僕らは理解したんですけど、
1:10:56	その辺ちょっと最初見たらわかりにくいんでお願いしますっていうところ です。
1:11:02	北海道電力奥寺ですわかりましたそれともう1点だけちょっとか先ほどの 西の方の西側に移動した検討の件でもう1点確認なんですけども、 我々の考えとして、
1:11:16	しては、西側に遠くし、医師した方が水位の変動が高くなるけ大きくな る傾向があるので、一番端まで西に移動して最終検討を行ったというよ うな考え方なんですけれどもそれも、
1:11:32	ロジック的なものを考え方的なものも明示的にどこかに示した方がは、
1:11:37	指名した方がわかりやすいよと、そういったような確認だったというこ とでよろしいでしょうか。すいません後戻りしてしまって、
1:11:46	よろしくお願いします。
1:11:48	はい規制庁タニです書き方とか書くか書かないかも含めてお任せしま すけど、ちょっと説明を聞いてみないと、いやと北電が、
1:12:01	遠いところの方が高くなるって思ってるのかどうなのかとかその辺がね ちょっと資料でわかりにくいなって、私は感じましたっていうところ です。
1:12:12	北海道電力奥寺でございます。はい。おっしゃってる内容については、 確認できました。ありがとうございます。
1:12:31	あとですね、その164ページに書いてある、パルスの話の考え方のも とになってるのが166ページなんだ。
1:12:43	ていう。
1:12:44	ことなのかなあというふうに思ったんですけども。
1:12:49	これまでのヒアリングでもこの辺の北電独自の判断っていう部分には、 こうちゃんちょっとこう、あんま論点になるんでしょねっていう話を したと思うんですけどね。
1:13:02	これって
1:13:04	結局この、
1:13:05	感度解析までをしなければ、前回の、
1:13:12	前回の会合のときに話してたのは、いやいや貯留堰の水位なんてあつ という間に回復するんですよっていうような話があったとは思って すけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:23	やっぱりここまでしなければ、
1:13:27	判断できなかったようなものなんですか。
1:13:32	何ていうんですかここで出てきてる数字っていうのは、余裕を持ってるような数字なのか、それともやっぱりこの26秒きっちり、必要な話なのかとかいうのがですね。
1:13:43	何かこの計算結果だけ見て、十分な話なのか、すごく余裕を見てこういった設定をしているのか。
1:13:53	或いはもうぴったり現実に即してやってるのかっていうのが、何かよくわからなくて、そもそも貯留堰の水なんかすぐ回復しますよっていう、
1:14:04	話とも大分こうギャップがあるような気がするんですけど、この辺の数字、
1:14:10	やっぱりここまでしないと、
1:14:12	この30秒必要だとかそういう話はわからないものなんですか。
1:14:47	北海道電力奥寺でございます。1メートルの敷地の理由は先ほどお話しした通りなんですけどもそこを固定した時に、
1:14:59	我々、多数のパラメータスタディをやったときに、この166ページの
1:15:08	真ん中の表の下の方のところに書かせていただいておりますけども、
1:15:12	数多くある中で、最大の貯留堰を下回る継続時間というのは、約600秒あると、そういう最悪のものが来たときでも、回復する。
1:15:27	ものを、開封絶対回復しますよ。絶対言い方よくないんですけども、回復する時間というのを定量的に出すとすると、右の図の、
1:15:39	感度解析結果になりますけども26秒程度なので、固定条件が1メートルであれば30秒ぐらいの敷地で十分回復する回復しないという判断ができるかなと。
1:15:50	思ってこれを合わせて、判断基準としてございます。以上です。
1:15:59	規制庁の名倉です。
1:16:02	これ、ちょっとお聞きしたかったのは、
1:16:05	この管路の解析のモデルってのは、
1:16:09	どういうモデルですか。
1:16:12	海水量それでも、
1:16:14	かかん水路なのか、もしくはそれぞれの組み合わせのスポットモデルとか使ってるのか、こちら辺はどういうモデルを使ってるんですか。
1:16:35	北海道電力の奥寺でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:40	モデルの名前をちょっと今ここ、何と答えたら、固有名詞みたいなものを答える。
1:16:48	言い方がわかんないんですけども、管路と海水量を組み合わせて、
1:16:54	ある起点でどういう水位の状況になるというものを計算できる、ツールによって計算してございます。以上です。他社でも使っている間の解析ツールでございます。
1:17:07	以上です。
1:17:09	PWRで幾つかってのはプロットモデルとか、女川でも使ってる。多分モデルはスロットモデルですけど、一応それを使ってるってことで李、もしくはそれに類する
1:17:22	連立した海水量と、閉管路の方程式を連立させて、解くような差分計算をしてるようなやり方をしてるっていうのは大体、
1:17:32	いずれにしても両方とも条件としてあるということで理解しましたけど、その場合に、
1:17:42	端部の速度条件どう与えてるのガイカイから、
1:17:46	取るできないへの、速度の初期条件でどう与えてるんですか。
1:18:00	北海道電力奥寺でございます
1:18:03	もう一度よくよくは確認しますがスイトウを与えてございます。
1:18:12	1メートルの水頭を与えております。
1:18:16	いや、あの水頭から速度はどう求めているんですか。
1:18:29	北海道電力奥寺でございます細部について確認させていただきます。
1:18:38	いずれにしても
1:18:41	その外界の条件が一番厳しいは形のパルスの条件を考慮したって、さっきおっしゃったので、私が推定したのは、
1:18:52	その種周囲の貯留堰付近の接点の条件、
1:18:56	パルスの時の条件を使って解析を保守的にした時に16秒ぐらい。
1:19:04	とという条件なのかな。ちょっと儀間のこれ、よくわかんなかったのは、
1:19:09	初期条件をどういうふうにしてそれをどういうふうに展開してるかによって0秒から20秒到達するまで20秒かかっているわけですね。
1:19:19	こちら辺はこの秒数っていうのは速度、
1:19:22	管内の伝播速度、
1:19:25	ここが支配的になるので、そうすると、初期条件として外界推移と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:19:33	貯留堰の境界のところの初期条件、ここでどういうふうに設定をしてるのかっていうことが支配的ん時間評価支配的になるんじゃないかなと思っただけで、
1:19:44	すいませんここは、これ施設で使ってるんですね、条件を使って施設側の評価で貯留堰の、
1:19:55	時間、
1:19:56	貯留堰の容量の取水可能時間と実際の評価値を比較して 228 ページとかで比較してるんで、
1:20:05	これ施設側の評価で使う
1:20:07	条件ですね。
1:20:10	このパルスを考慮するしないっていう判定は施設側の評価で使う条件という理解でよろしいですか。
1:20:25	北海道電力奥寺でございます。ちょっと先ほど出てきた部分と合わせて回答いたしますけれども、
1:20:35	まずそソフトですね、解析ツールですけどもこれは先行サイトでいうと島根等で使っているツールで、全く同じと考えております。
1:20:46	それと、228 ページの値というのはそのツールを使って、
1:20:54	秒数とか容量、
1:20:57	ない。
1:20:59	足して計算していったもので、
1:21:02	足達がチェック。
1:21:08	大事。あと 7680 秒というのは容量とか体積から、
1:21:16	容量といいますか形状から容量を出していったものです。で、この秒数というのは、先ほど言った、継続時間とかパルスを考慮しない時間で出てきた結果で、
1:21:30	この容量に対して、このような秒数が現状のところ出ていきますと、
1:21:35	ああいうような比較となり、
1:21:38	こういう検討というのはあい津波設計方針のほうで詳細に検討していく内容かなと考えてございます。
1:21:46	以上です。
1:21:48	ナグラですわかりましたっていうことはこの 30 秒っていう数値に関しても、
1:21:54	スクリーニング

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:55	あの時、要はどういうふうなパルスを小無視するかっていうところの考え方としてはこの 30 秒という数字を使っているわけですね。
1:22:04	だから施設側の評価の中でこの 30 秒っていうものの妥当性については、
1:22:09	確認してもらうように伝えておきましたので、
1:22:14	施設側のところではここまで詳細には確認施設がっていうか地震津波側では、この内容を掘り下げて、私が確認するのは現実的ではないので、
1:22:25	確認してもいいですけど、
1:22:27	これは施設側で本来確認すべき内容っていうことで理解をしました。
1:22:33	こういう条件を、
1:22:36	使って基準津波の波源を選定しているという今状況になってるんですけど、これ施設側の方で指定されたら、
1:22:45	やり直すっていう理解でよろしいですね。
1:23:05	北海道電力藪ですけれども、ちょっと今のお話の整理のためにちょっと確認させていただきますけれども、
1:23:14	今おっしゃられたように、取水口位置で基準津波をどういう考えで選定するかというフェーズだというふうに思って、
1:23:24	でございまして施設側の評価は、また施設側の評価でやらせていただく予定でございます。基準津波を決める時に、通常ですと、水量少量水位下降量取水口ですと水位下降量の方も、
1:23:40	最大水位下降量を取水口位置で出す波源を、基準津波の波源とするという考え。
1:23:49	で整理するのが一つと、これまでの議論の中で、弊社の場合、すでに貯留堰が取水口に設置されておりますので、
1:23:58	朝夕いいんの、その貯留時間に対する影響の大きい基準津波をじゃあどうやって選定するんだという議論があって、
1:24:09	通常、理想的には例えば水位低下量と、貯留堰の貯留高さを切る。
1:24:19	最大時間を示す津波が一致すればどちらでも構わないんですけども弊社の場合それを整理した時に、
1:24:26	必ずしも一致しなかったので時間に着目したパラメータスタディを行って、その時間として、取水口、取水堰に対して厳しい基準津波を選定しようという、
1:24:39	流れで整理をしてきております。で、今ここで示している、例えば、開会の条件が、取水堰の天端から+1 メーターになった時に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:52	要は1回津波で水位低下が起きて、貯留堰の中だけの水で、補機の冷却ポンプが動いていてそれから、
1:25:03	津波が水位が戻ってきて、貯留堰の高さを、仮に1メートル程度を超える時間がどれくらい続いたら貯留堰の容量が回復するかという検討を、
1:25:16	ここで行っているとそれを検討するために一応感度解析をやってですね、26秒程度で回復するという結果を経てそのまま開会条件の1メートルとかっていうのは、
1:25:29	先ほど、一応、
1:25:31	パルスの高さとか見て1メートルって決めてますんでそれなり妥当性説明あると思いますけどそういう条件のもとにやって、30秒っていうのはですから、30秒ぐらいのパルスが来れば、
1:25:44	回復するだろうという、一つの基準としてここは決めているものです。そういう状況に従って、
1:25:51	取水口前面のす津波を時間として選定するためにこういう回復しないものは、
1:26:00	見ないし回復するものはそれで1回切れますねってということで時間を選んでいかないと。
1:26:06	保守的な時間選定にならない可能性があるということでこういう選び方をしていると、あと先ほど野村さんがおっしゃられた最終的に、入力津波の側で取水ポンプ1で、
1:26:18	どれが一番厳しいかっていうのは改めて
1:26:23	取水口うから、そのポンプの位置で今基準津波が決まれば、取水口で決まっている基準津波時間の方も水位低下の方もそうですけれどもその津波を使って、
1:26:35	今水路の条件で、解析をして、どの程度を取水可能水位より下がっていくのかっていうのは、
1:26:45	別途また確認していくとそういう流れになっておりますで、当社の津波解析の場合は、取水口位置までは平面二次元で解析しますけれどもそこから先は、
1:26:56	水路は、水路の応答解析はまた別な計算でやってますのでちょっとそこは、
1:27:02	一連ではちょっとできてないんで、こういう説明をさしていただいていると、ちょっと説明分けわかりづらいかもしれませんが、そういう考えで今ご説明させていただいているという状況でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:13	やっていることは今説明を再度さしていただいたってということで理解しましたけど内容は理解してます。
1:27:20	どういう保守性を有しているのかって大体わかりますけれども、
1:27:25	正しい施設側での時間数時間評価の考え方をそのままある程度使ってる ところがあって、
1:27:34	この 26 秒ということの妥当性は今現在で確認できないので、
1:27:40	施設側でちゃんとこの条件を確認してもらって、実際そのパルスの
1:27:47	状況も踏まえた上で、この 26 秒っていう算定が、実はもう少し、
1:27:56	厳しい条件保守性を施設側で考慮した場合に、30 秒がもっと長い時間な のか短い時間なのかわかんないけど、30 秒が変わると。
1:28:09	ということになると、影響を食らう可能性はありますねと言ってる形だ けなので、
1:28:16	今確認できないので 26 秒の妥当性は、
1:28:19	だからこれが施設側の確認を終えた結果として、まだこれがひっくり返 る可能性は私はあると思っているのでその場合はその影響については、
1:28:30	もう 1 回さかのぼって検討をするんですよねと聞いただけです。
1:28:35	当たり前の話だと思うんですけどね。
1:28:38	やりませんということは、じゃあ今妥当性を示せともしくは、これを 30 秒って考慮しないで、
1:28:45	この条件によらなくて、じゃあどういうふうにするのかって話はあるん だけど、
1:28:51	これを使わないでやったとしてどうなのかっていうことなのかもしれない ですけどね。
1:29:04	何かあります続けて、私も確認したいんですけど、何か答えたことありま すか。
1:29:12	私の方からですね、これ、私がちょっと理解が足りてないんだと思うん ですけど、166 ページで、ここのほら、水位回復するっていう話って、 これ、
1:29:25	ポンプ 1 の水位の話してるじゃないですか。
1:29:28	で、
1:29:29	北電、最初の説明ではこれしつこいようですけど、3 号炉貯留堰はすぐ に
1:29:37	ミスイが上回った時点ですぐに回復するんだと、だから短波で考えれば いいんだっていう話をされてたと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:46	貯留堰自体はすぐに回復するっていう、それはす。
1:29:52	そうなんです。貯留堰の話とちょっとポンプ1の話とちょっと切り分けて、僕は、
1:29:59	いや、僕が今、今、確認したいのは、ちょっと確認したいんですけど、
1:30:50	北海道電力の奥寺です。
1:30:56	今入力する津波のはけを拾い上げてるところが、3号炉書類貯留堰の手前の部分、そこで開けを拾い上げてますけれども、
1:31:08	処理付の現場のす。
1:31:12	高さより水位が下回ったときに、また波が上がりましたっていうものを、その影響が、ポンプ位置での水位低下。
1:31:25	にどういう影響を与えるかっていう時間差があると考えたので、
1:31:30	その影響を定量的に評価するために、管路解析をしなければならないと
1:31:37	目的としては、
1:31:39	海水ポンプの取水会の水位を下回る可能性の高い波源の選定が
1:31:47	大目的なので、
1:31:49	そういう意味で、今回、この26秒っていう数字を定量的に出しています。
1:31:55	以上ですけれども、
1:31:59	はい。もうもうこれ以上聞くのはやめますけどいや
1:32:03	最初、最初の会合のときには、3号炉種貯留堰はすぐに回復しますっていう話が、その、その話はどこに行ったのかなってザッとその根拠なんだったんだらうなっていうのは、
1:32:16	私ちょっと知っておきたかったっていうだけなので、もうこれ、この話は以上にします。
1:32:26	納得したというんじゃないくてよくよくわか説明がよくわかりませんでしたっていうだけです。はい。
1:32:46	規制庁の名倉です。
1:32:50	おそらくこの間口ガー水水位でほとんど、
1:32:54	どういう水外界の水位とどうい
1:32:58	プロポーシオンというか高さ関係になってるかっていう説明が全くこの
1:33:03	断面図上見えないので、おそらく私も想像つかないところなんですけど、
1:33:09	-3メートル-4.3メートルと閉館の開水路との関係っていうのはちょっと教えてもらえますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:36	栗東北海道電力のアオキですと標高関係の情報がちょっとわかりづらいというところで、補足させていただきますとこちら 166 ページに断面図書いておまして、
1:33:49	まず図面中にちょっとマスキングしているんですが、最低水位を記載してございます。
1:33:55	これに対して 3 号炉貯留でき、左側に図面ありましてこの天端の高さが TP-4 メーターとなります。
1:34:05	この管路解析の初期条件というところで、このうちガイカイの水側貯留的な外側の水位については、
1:34:14	TP-3 メーターを境界条件として与えております。そちらが貯留堰の天端よりプラス 1 メーターの値になっております。
1:34:24	一方その貯留堰より内部のところの初期水位については、
1:34:28	土肥+以下と言うと TP-4.3 メーターでこれ貯留堰の内側のところで 30 センチほど下げた水になっております。
1:34:38	この内側の水についての根拠というところが、スライドの中段の下段の表に書いております初期貯留できないの水位というところの備考に書いておまして、
1:34:49	こちらは、貯留堰を下回る継続時間、一波だけの時間で見た時の最大値パラサの最大値が 558 秒でして、こちらを丸めまして 600 秒に設定します。
1:35:03	その 600 秒間ポンプが取水可能し続けた後に、
1:35:07	処理できないの水は TP-4.3 メーターになります。ナグラですね資料に書いてあるからわかるんで、説明してもらいたかったのは取水炉の
1:35:17	天端高さは幾らですか。
1:35:23	北海道電力の室田です。取水口のですねこの 166 ページで言いますとこの取水口の底盤が TP-8 メーターになります。
1:35:33	出口の大きさが、
1:35:35	すいません確かですけど 4.25 メーターなので、口の、主水路の天端の高さがマイナス 3.75 メーターになるはずです。
1:36:02	規制庁たんすももう 1 回ちょっとゆっくり教えてくださいさっきさっきと同じ言葉でいいので、取水炉の底盤の高さが-
1:36:12	8 メーター。
1:36:14	で、
1:36:15	主水路の天端の高さがマイナス 3.75 メートルですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:33	言いよ。
1:36:45	名倉です。
1:36:47	ということは、
1:36:50	マイナス 3.75 までは開水路の条件になっていて、それをさマイナス 3.75 をを超えるとそれは閉館の条件になるということですね。
1:37:03	感度解析じゃそういう条件でやってます。
1:37:06	以上です。
1:37:08	はい。実際の感度解析の、
1:37:12	結果を見ると 3.75 ぐらいが変曲点になっているのでその前後で、
1:37:17	おそらく、そういうことなのかなということで、理解しました。
1:37:26	ていうことは解説の改正炉空間での電波特性で時間がかかっている。
1:37:31	それを考慮しても今、20 秒ぐらいで到達するというところで理解をしました。
1:37:39	はい。
1:37:55	規制庁谷です。ちょっと次の確認に入りたいと思う。場合によってはまたさっきのところに戻りますけど、
1:38:03	えっとですねえ。218 ページ
1:38:11	今回、
1:38:12	結局その子の選んだ。
1:38:15	選んだという価格、各地形モデルで、各評価地点で最大になっているものっていうのがこの
1:38:22	このページに全部羅列してあって、
1:38:26	こそ、ここに選ばれているものは全部、
1:38:30	組み合わせ、
1:38:32	の検討対象波源とするっていう、方針もきっちりと、これこないだのヒアリングで確認したんですかねきっちりと書いていただいたっていうのは
1:38:43	よくわかるようになったんですけど、これってちなみに 218 ページは、
1:38:49	何ケースあるんですか。
1:38:53	全部でトータルで。
1:39:25	すいません今かすいませんちょっと待ってください。
1:40:05	規制庁谷ですけど、10 ケースですかね。
1:40:22	当北海道電力の青木です。考え方としましては、健全地形モデルの縦方向で見ますと、上の三つが同じ波源でかぶってしまって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:35	下の二つもかぶっているので健全地形では4波源。
1:40:38	で同じような考え方で防波堤の損傷①では5波源。
1:40:43	防波堤損傷②では4は下で一番右側すべて別のものですので7は下というところで、4足す5足す4足す7-20は下が、
1:40:54	次の検討で用いる波源というところで考えております。
1:40:58	以上です。
1:41:00	規制庁谷です。そっ。
1:41:04	そうですね。そうですね。そう。地形モデルごとに数えなきゃいけないってことですね。
1:41:13	20、
1:41:15	これ。
1:41:17	あれですか。
1:41:19	全部。
1:41:22	組み合わせて、
1:41:24	さっき言いました健全地形モデルだったら4ケースを、
1:41:29	全部
1:41:30	部、
1:41:32	重ね合わせた検討を最後まで、
1:41:36	やるんで、地形モデル1だったら1で、5ケースを全部やっていくっていう説明でいいんです。これは、
1:41:45	北海道電力奥寺でございます。その通りで、
1:41:51	地形ごとに出てきた波源に対して、おそらくもって、まだ確定してないですけどかは知ら陸上地すべりの、
1:41:59	地震以外として、井口を地すべり川白尾、
1:42:05	頂上の対象として検討していくと、地形ごとに検討していくと波源ごとに、
1:42:11	そういうことになります。
1:42:31	規制庁タニすまなんかあれですねいずれにしても手間がかかりそうですけどそれが必要だっていうことで北海道の八鍬今、これから進めるのか、今も、
1:42:42	そういったのを着手して進めているんですかのみ見込みで、
1:42:47	進めているのか、今後、
1:42:50	やっていくってことなんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:42:56	北海道電力の奥寺でございます。見込みでできる部分については着手して進めているところです。以上です。
1:43:05	事実確認できました。
1:43:08	これは悪いですね時間の組み合わせ他、何ていうんすかね。
1:43:19	規制庁たんでこれ単体組み合わせを1回やってみてそれからまた考えてとかそういうステップを踏まずに、この20ケース、あるのはもう全部、
1:43:30	一気に通貫で検討するっていう説明かと今理解しましたけど、そういうことですか。
1:43:42	北海道電力の青木です。ちょっと今考えてる内容としましては、藤タニさんがおっしゃってるのは線形の足し合わせの解析やらずに、
1:43:53	ただ結果だけをはけて足し合わせて、そこで絞り込んでとかそういった検討をやってるかという質問かと思いますが、当初は考えてる内容としては、選ばれた波源に対して、
1:44:05	時間差をそれぞれパラスターとして組み合わせて検討してそこからまた最大なる波源を選んでいくといったところを考えております。以上です。
1:44:25	すいません
1:44:27	ちょっと頭入ってこない。でももう1回ちょっとさっきの説明、もう1回お願いします。
1:44:36	北海道電力の青木です。もう一度説明させていただきます。
1:44:43	重畳させる際には、またサイトでもやってる評価として、船型の足し合わせという評価をやってるかと思いますが、そちらについては、
1:44:53	当社の場合で言いますと日本海東遠部の単独で出てきたアウトプットの葉系と、地震以外の伴う津波の最大になる波源の単独でできたは形。
1:45:06	この二つを線形的に足し合わせて、ピークになる時間を見つけてすまそれで、
1:45:12	衛藤田路幅野解析をやっていくと、というような流れが、一般的かと思っております。当社は、それとその評価とは別に当社が考えてる内容としては、今回選ばれた波源に対して、同時波動場の、
1:45:28	時間差をパラスター的に検討して示すことを考えております。
1:45:33	大瀬桑敏以上です。
1:45:39	はい規制庁タニ相撲だ。だから一気に同時は土場でやるってことですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:44	これって簡単に僕ぱっと思ひ浮かぶと、あれですか、基準津波は、
1:45:53	場合によっては 20 報、
1:45:58	できるかもしれない。
1:46:01	ということなんですかね。
1:46:04	ちょっとその辺は解析結果まで進まないといふとも。
1:46:08	答えれない。
1:46:09	けど、とにかくここでは、削らずに全部このまんま、
1:46:15	次のステップに進みますっていうことでは理解しました。
1:46:37	規制庁谷ですここは以上にして、
1:46:40	あとですぬすいませんすぐ戻って、
1:46:44	審問ですけど、
1:46:48	今回、
1:46:50	12 号取水、
1:46:53	取水口の下降側の水位は、
1:46:57	影響評価地点、影響確認地点ということにしたんだという説明があったんですけど、
1:47:05	これ、
1:47:08	今のタイミングでこれを変更するっていうのは、あれなんですかねただ単にこの間、
1:47:15	ヒアリングで確認した。
1:47:18	ということで、
1:47:19	初めてそうかなって思っただけ確認したのか何か
1:47:24	今、変えるって理由って何かあるんですけど地形が変わったことだとか、そういうことも影響してるのかちょっと確認させてください。
1:48:19	規制庁丹です。特に今、今、今じゃなくっても、そもそも 3 号炉の
1:48:26	審査だっということを見ると、もともとこれは、
1:48:30	評価時点じゃなくてもよかったっていう整理なん。
1:48:34	ですか。
1:48:36	北海道電力オクデラですもともと評価地点と考えていたんですけども、評価地点じゃなく 3 号の審査だっというところもありましたので、
1:48:46	そのタイミングでここを
1:48:49	外す。
1:48:50	ことを考えなかったんで、今 3 号の審査としては幅広に、
1:48:56	波源を選定する、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:59	言い換えれば保守的に検討する観点から、12号を影響評価地点として入れ込んでおります。以上です。
1:49:29	規制庁田谷です前回、前回のヒアリングもこれ参考地点だったんですけど。
1:49:44	北海道電力オクデラでさ、名称とか取り扱いがちょっと違うんじゃないかという議論が前回のヒアリングでありましたので今回、
1:49:54	影響評価値確認地点ということで定義し直してございます以上です。
1:50:05	規制庁谷です。すいませんよく資料を見ればいいんでしょうけど、扱っても前回のヒアリングから今回のヒアリングにかけて、ここを評価地点とする、するかしないかっていう扱いも、
1:50:19	下変え今回の今のタイミングで変えたっていうことで理解していいんですか。
1:50:34	北海道電力奥寺でございます。前は評価地点としていたんですけども、今回は、位置付けを考えた上で、前回の事実確認を踏まえた上で位置付けを検討して、
1:50:49	影響評価地点に落とし込んでございます。今回から、以上です。
1:50:57	はい、わかりました。タイミングとしてはよく、今回のヒアリングの間でよく考えた結果そうするのがいいだろうという適正化をしたっていうことではい。
1:51:08	確認できました。
1:51:12	規制庁の名倉です。
1:51:15	ちょっと評価点に関しての基本的な考え方を確認したいと思います。
1:51:22	水変動量に関する評価項目として、
1:51:26	下降側除いて上昇側はすべて基本的にエントリーしているという理解でよろしいですね。
1:51:51	北海道電力の奥寺でございます。下降側については、12号炉の取水口を除いておりますけれどもそれ以外については
1:52:02	上昇は含めて、すべて評価項目としてございます。以上です。
1:52:09	はい。ちょっとその意味合いが何か明確に書いてないので、
1:52:14	聞いたんですが、
1:52:18	要は今回は3号の申請なので当然、
1:52:23	3号炉の取水口、
1:52:26	放水子

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:30	放水コア両方あるんで、そういう意味では、3号機取水口上昇が下降側 ってあるのは基本的には、
1:52:38	越冬ん所、上昇側に関しては敷地への浸水防止の観点で、12号取水口と 3号取水口それから、
1:52:49	逆流してしまうということも考えてフォース以降の上昇側、
1:52:53	こちら辺は取放水炉、
1:52:57	からの流入防止の観点で、上昇側を評価点にしているこれは敷地に対し て、
1:53:03	2、3号炉が設置している敷地への浸水防止ということでは、12号炉関 係の取水口放水高もすべて、評価対象になるから評価対象入れてると。
1:53:17	それから膨張して全面は当然敷地公募に必要な評価項目として上昇側は必 要ですと、3号の取水口下降側があるのは、これは当然、
1:53:28	3号炉の海水ポンプの機能補助確認しないといけないので取水可能水位 を上回る水位であることの確認をするために下降側の水位について評価 条件にしていると。
1:53:40	そういう意味で、あくまでも申請、
1:53:44	ユニットに対しての条文適合を確認する上で必要なポイントを抽出して いて、
1:53:52	12号炉の
1:53:54	下降側に関しては、
1:53:57	これは12号炉が、今回申請対象ではないので、あくまでも参考の評価 点としたという理解でよろしいですね。
1:54:06	北海道電力の奥寺でございます。全くもってその通りの認識ございま す。
1:54:12	以上です。
1:54:18	規制庁の名倉です。そういう意味で、
1:54:20	ちょっと何とか評価点の抽出の考え方として基準適合との関係。
1:54:28	やはり評価点については必要ですということの趣旨がちょっと読み取り にくいなというふうに思いましたんでこちら辺はちょっと、説明性の問 題かなとは思いますが、適宜修正をお願いします。以上です。
1:54:46	北海道電力奥寺でございます。そのあたり、今のやりとりの内容が明確 となるよう修正できるかどうかというところを表現等を検討いたしま す。
1:54:57	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:02	はい。規制庁谷です。お願いします。あとはですねちょっと時間ももうなくなってきてるので、
1:55:11	ちょっと今後の進め方として、北電の考えというかですね、そういったことを確認しておきたいんですけど、何か前回のスケジュールを
1:55:22	もう確認すると、
1:55:26	この日本海東遠部が終わったら次ワー、
1:55:30	積丹半島の話も含めて、
1:55:35	組み合わせの
1:55:37	評価まで行きたいと地震以外ん。
1:55:41	の要因の津波と組み合わせの、
1:55:44	話まで一気に行きたいっていうような、それが今希望されている進め方ってことなんですか。例えば、
1:55:53	地震の津波一色で、何か説明を、
1:55:58	途中で挟みたいとかそういうことも特にない。
1:56:01	なく、
1:56:03	次は、地震全部、地震以外の
1:56:07	要因の組み合わせまで行きたいっていうことなんですか。
1:56:20	北海道電力の奥寺でございます。東遠部で、
1:56:25	重畳を含めた検討の枠っていうのが決まると思っておりますので、一気に重畳の検討、東遠部が終われば重畳の検討まで含めて、
1:56:38	審査を受けたいと考えてございます。以上です。
1:56:44	理由は基準津波の、我々の考え方を提示することになるのかなと我々としては考えてございました。以上です。
1:56:59	はい。規制庁谷です。ここのこの東遠部の議論がいつ終わるかっていうのもあるのかもしれないんですけども、
1:57:06	あれですかね例えば、途中で、
1:57:11	地震、地震、全部、
1:57:14	地震のよ、地震要因の津波全部。
1:57:17	プラス例えば組み合わせの方針を聞くだとか、そういったことをこう入れた方が効率的に進むんじゃないのかとかそういったこう考えは、
1:57:28	ありますかっていうの等そういった進め方になっても対応できそうなのかっていうのも、ちょっと確認させてください。
1:58:10	規制庁谷ですけど聞こえてました。
1:58:14	図1式を聞く前に、例えば、東遠部が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:19	めどが立つとたったらそのあとに、何か方針みたいな。
1:58:24	ことを1回、
1:58:26	挟むってというような考えはありますか。
1:58:33	北海道電力の奥寺でございます。お考えあるかと言われますとなかなか答えるの難しい。今あるかないかというところ先ほどのように、
1:58:47	東遠部決まれば、重畳その結果っていうのも今同時並行で進めて提示できるかなと思っていたので、
1:58:55	そういう考え方で進めようと考えておりましたが、どうすると言ったらよろしいでしょうかどうしたらよね。はい。途中で1回県方針みたいなのを挟んだ方が、
1:59:09	後戻りなくって、進むんじゃないかとかそういった何て言うんすかね進め方に対して、
1:59:18	やっぱり一気通貫ではないと。
1:59:22	やりにくいのかとか、
1:59:25	それいずれにしても、我々が次の会合で、
1:59:28	次の会合というか、次の次のかよくわかりませんが、今後こんな感じで、
1:59:34	進めへ進めたいみたいなことも言うんじゃないのかなと思うんですけども。
1:59:46	次はだから東遠部が終わったらもう、基準津波まで。
1:59:50	進めないと、何か不具合があるんですか。
1:59:54	北海道電力奥寺でございます。
1:59:56	重畳の検討方針等を挟む。
2:00:01	そういう審議のやり方って審査の受け方ということに、当社としては不具合はございません。
2:00:08	それを分けて進めていくことに関してはそういう対応も可能です。
2:00:13	以上です。
2:00:15	規制庁とISI確認できました今確認するようなことでもないのかもしれないんですけど、
2:00:21	ちょっと介護、いつになるかとかこの審議がいつ終わるかっていうのにも、あわせてちょっと我々も考えていきたいと思っていますので、
2:00:33	はい、お願いします。
2:00:51	規制庁谷です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:53	ちょっと時間も過ぎてますので、確認はこれぐらいにしてですね、介護までの間数資料の
2:01:03	スケジュールみたいなのを確認していきたいんですけど、
2:01:08	介護最短で27日に、
2:01:11	調整できないかなというふうにしては、我々調整中なんですけれども、27日開放するとなると、
2:01:20	例えば、
2:01:21	今週、
2:01:23	中とかに、
2:01:25	資料、
2:01:27	でき上がりのイメージがないん。
2:01:30	あって欲しいとか思うんですけども、どうですかね。
2:01:38	北海道電力の奥寺でございます。
2:01:42	正直なところを言いますと、
2:01:45	印刷作業とか部数用意する作業、そして、
2:01:50	今日の事実確認等もございましたけども当社として、追記、補足とかする内容を社内検討等を含めると、
2:02:02	今週中に資料を出す或いは来週頭に資料を出すというところは、
2:02:08	実作業的には、
2:02:11	正直に言いますと非常に、
2:02:15	難しいと。
2:02:18	考えております。27の場合は、
2:02:21	以上です。規制庁田井ですそそなん言う中なのかなって思うんですけど
2:02:29	あれですかこのままの資料だったら、27日の会合も、例えば今週中にそろってっていうのも可能ってことなんです。このままだったら大丈夫なんですか。
2:02:39	北海道電力、
2:02:41	の奥寺です。今週中に資料を
2:02:46	うん10部提出と金曜日までに提出。
2:02:49	ということを、
2:02:51	紙資料は特にいいんですか。来週のいつもの会合のなんてスケジュール感でやってくれたらいいんですね毎週、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:02	主に提出するっていうそういうことですか今週末に、その提出というふうに私受け取って難しいと。
2:03:12	言ったんですけれどもこのままだってという話ですか。
2:03:16	そうです。
2:03:23	ほとんどオクデラでございます。この状態。
2:03:29	ほとんどこの状態だということであれば来週月曜日、
2:03:34	の通常通りの対応であれば、
2:03:37	この可能です。はい。以上です。
2:03:41	規制庁谷ですじゃあ 27 日に会合をかけるかどうか我々ちょっと調整、最後最後、決定するのは、多分、
2:03:51	明日とかにはなると思うんですけど、ちょっと北電の考えをまた、どこまでなら、反映しますとか、反映しますっていうかそれはもう、
2:04:01	何か適正化みたいなことが多かったんじゃないかと思うので、
2:04:05	どこまで検討少なくとも何か新しく検討するようなことなんか何もないわけで、
2:04:14	資料をわかりやすさの観点でこの辺ちょっとつけ足しますぐらい、どこまで反映させるかというのもちょっと考えてもらって、
2:04:23	また連絡ロジ的な連絡等を取り合っていきたいと思います。
2:04:28	わかりました。
2:04:31	あと北海道電力から確認したいこととかありますか。
2:04:42	規制庁の名倉です。
2:04:48	先ほどちょっと藪さんとのやりとりで、
2:04:51	30 秒という閾値が
2:04:55	これが伸びる等、影響があるんじゃないかって話をちょっとしたんですが、ちょっと後ろの方の結果とかを見ると、
2:05:04	X = 100 何秒っていうのが非常に多いように見えて、
2:05:09	例示のところにある x 50 秒とかっていうのも、もしかしたらここに表れていないは形とかで X が、30 秒に近接したパターンってあるのかもしれないんですけど、
2:05:23	今後でもいいので確認しておいていただきたい、いただきたいのは、
2:05:27	30 秒と主要が 50 秒としようが、結果にあまり大きな差が出ない。
2:05:34	堰堤に対して、
2:05:36	ということのちょっと確認をいづれしといた方がいいんじゃないかなと。それをしとくことによって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:05:43	若干動いてもそんなに、基準津波の選定には影響しませんよって答えられる可能性があるんじゃないかなと思いますので、このところはちょっとおいおい検討していただければと思います。いかがでしょうか。
2:06:09	時間に対してどういう影響があるかっていう検討ははい、して参ります。
2:06:15	ちょっとけ、結論が変わるとなるのか変わらないとなるかちゅうのちょっと今、にわかには私も把握できませんけれども、
2:06:22	今の趣旨で検討はして参ります。以上です。
2:06:29	はい。
2:06:31	一応データを出していただければこちらでも見ますけど今のデータは限られて、うん。うん。うん。
2:06:40	見られているので、
2:06:42	はい。
2:06:46	あれなんか飛んでるな。
2:06:49	名倉です。わかりました。
2:06:52	よろしくお願ひします。以上です。
2:06:59	規制庁谷ですそれでは本日のヒアリングを終わりたいと思います。
2:07:03	どうもお疲れ様でした。
2:07:05	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。